

「第7回スキルアップ講習会」報告

熊本市部長 東利雄

2020 東京パラリンピックの開催が決定以降、熊本県においても「熊本県パラスポーツ強化指定選手（KPAS）」医科学支援事業が開始され、身近なところでトップ選手の強化活動が展開されつつあります。そのような時期において、2016 リオデジャネイロパラリンピックに車いすマラソン日本代表として、4大会連続で出場された副島正純選手を講師に迎え、①人生を変えた怪我、②車いすスポーツとの出会い、③車いすアスリートとしてという3部構成で自身の受傷から今後の目標に対する取り組みについて講演頂きました。

トップアスリートとして活躍されるまでの多くの取り組みと「あきらめない」気持ちを持ち続け本日に至り、そしてまた、次の目標とこれからの夢を掲げ進んでいこうとされる講演の内容は、参加された方々の気持ちを前向きにするものであったのではないかと感じました。普段なかなか聴講する事の出来ない話を参加された方々と共に共有でき、本当に素晴らしい講演でした。

企画担当者としては、当協議会の多くの会員の皆さんに聞いて頂きたかった講演でした。

